

生活支援体制整備

第7号 令和3年3月

発行：遠賀町社会福祉協議会

事業だより

今年度のスローガン！！
お互いさまでつながる遠賀

世界的に流行している「新型コロナウイルス」との厳しい闘いが続いており、本町でも、住民の皆さんが、新型コロナ禍のため、外出制限、マスク、手指消毒、フィジカルディスタンスなど、気を緩めることなく自粛生活に努めています。

このような中、生活支援体制整備事業で地域の区長さんや民生委員さんとお話をさせていただく機会がありました。皆さん、親切な方ばかりです。特に高齢者世帯は、外出の機会も減り、著しい筋力低下の可能性が指摘されており、一様に心配されていました。家でもできる軽い体操メニューのチラシを配ったり、三密回避の観点から室内運動は避けて、屋外の活動をされていたり、地域の社会的孤立を招かないように、自立生活を損なわないようにできることを考えて支援活動をされていました。

暗いニュースばかり目にする昨今ですが、地域にはたくさんの親切な方々がいらっしゃいます。一人で悩まず困ったことは相談するのも大切なことだと思います。

～退職のご挨拶～



サブ生活支援コーディネーター
平原 久子

～元気でまたお会いできますように～
令和3年3月末日 遠賀町社協を退職いたします。7年前からサロン担当となり、町内ほぼすべての公民館へお邪魔しました。共に歌い、踊り、食べ、時に仕事を忘れて本当に楽しいひと時を過ごしました。遠賀町には今まで経験したことのない文化もあり新鮮で刺激のある毎日でした。最後の一年がコロナ禍で十分に活動できなかった残念さがありますが、関係者の皆さまには心よりお礼申し上げます。
ありがとうございました。



～令和2年度の振り返り～



生活支援コーディネーター
(島門小・広渡小 校区担当)

三根 伸高

新型コロナで開けた令和2年度、オリンピック延期決定にショックを受け、緊急事態宣言で、皆がワクチンの早期完成とウイルス撲滅と早く元の生活に戻れることを祈りながら、自粛生活を過ごしました。全国的にも経済が厳しくなる中、サロン活動を実施して下さった地域にお伺いしました。「人はひとりじゃ生きられない」よく耳にする言葉ですが、みんなが集って、談笑している時は、皆さん目が輝いていました。本当に大切なものは、失ってわかることを改めて知りました。微力ながら2年度できなかったことを来年度できるように頑張ります。よろしくお願いします。

今年度1年、各地区を訪問させていただいてお話を伺う中で、コロナ渦でもご近所同士の支えあいが、これまで以上によりごく自然に行われていることに深く感動しました。

訪問させていただいた際には、皆さんが明るく笑顔で迎え入れていただき、お話をすることで遠賀町の人の心の温かさが強みになっていることを体感できました。

来年度は、みなさんの優しさやつながりを地域全体に広げられるようお手伝いさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



生活支援コーディネーター
(浅木小 校区担当)

矢野 隆博

コロナ禍で地域活動が停滞している状況において、この事業を進めることが厳しいと思うことが多々ありましたが、一方で、新たな気付きや発見もありました。

令和3年度も住民の皆さまとの出会いや関わりを大切に本事業に取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。



サブ生活支援コーディネーター

安増 崇徳

遠賀町社会福祉協議会 (ふれあいの里内)

☎ 293-0430 FAX 482-8880

(火～土曜日 8:30～17:15)